

陳 情 文 書 表

(文化市民局)

受 理 番 号	2 5 9	受 理 年 月 日	令 和 3 年 7 月 2 日
件 名	ファミリーシップ制度の導入		
要 旨	<p>京都市では、令和2年9月から、パートナーシップ宣誓制度が開始され、性の多様性や性的少数者の方々への理解が深まりつつある。現在、パートナーシップ宣誓制度は、100以上の自治体が導入し、全国に広がりを見せている。</p> <p>そしてさらに、今年1月導入の明石市を皮切りに、徳島市や東京都足立区では、同性カップルの子供も家族として公認するパートナーシップ・ファミリーシップ制度が導入された。また、京都市も導入を検討すると聞いた。同性カップルだけでなく、その子供も家族として認められるということは、生活の中での生きづらさを解消する一つとして重要なことである。</p> <p>ついでには、京都市が掲げるSDGs、誰一人取り残さない社会、様々な家族の形を応援する温かい京都市の実現に向け、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同性カップルの子供を家族として公認するファミリーシップ制度を導入すること。 2 当事者の方からの意見を丁寧に聴き、制度を構築すること。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	文化環境委員会		